

# 校内研修計画

甲州市立塩山北中学校

## 1 学校課題

本校は、大菩薩山嶺の扇状地に広がる、農村地帯に位置する全校生徒26名の小規模校である。穏やかな性格の生徒が多い一方、生徒の特性は多様である。個々の力を伸ばす、それぞれの生徒に応じた指導が課題である。

## 2 研究主題

### 「生き生きと学びつづける生徒の育成」

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～

## 3 主題設定の理由

近年、情報化や科学技術の高度化、国際化など、社会はめまぐるしい変化を遂げ、生徒を取り巻く環境も大きく変わりつつある。特に、新型コロナウイルスの感染拡大により、ここ数年で、リモート授業の普及や一人一台端末の活用、授業でのICT教材の活用など、加速度的に学校現場にも大きな変化が起きている。そのような社会情勢や教育の現状を踏まえ、今後の教育課題について考えてみたとき、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要だといえる。

本校では一昨年度、県総合教育センター情報研究部の研究協力校として、指導助言をいただきながら1年間研究を進めてきた。授業内での一人一台端末の利用をはじめとするICT機器・教材の運用だけでなく、家庭学習におけるデジタル教材の有効活用についても学び、生徒自らが課題を選択し取り組む「個別最適な学び」についての研究を深めることができた。

これまで研究を進めてきた「主体的・対話的で深い学び」と「ICTの効果的運用」をさらに深化させ、「令和の日本型学校教育」が示す個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるような研究を行っていくことで、さらに発展的な研究が行えると考えている。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 基礎学習

- ①研究についての基礎学習（確認）
  - 「複線型授業」について
- ②研究のための環境づくりとしての研究
  - Web-QUを取り入れた支援法の研究と実践
  - 塩北ライフの実践と改善
  - スタンバイノートのさらなる活用（ICTを含めて）

### (2) 授業実践に向けた研究

- ①研究授業に向けた指導案検討
- ②「個別最適な学びと、協働的な学びの実現」をめざすための研究
  - ※「指導と評価の一体化」を意識した授業改善
- ③カリキュラムマネジメントの充実に向けた取り組みの推進
  - ※地域の実態を踏まえ、教科等間のつながりを意識した教育課程の編成の研究
- ④甲州市確かな学力育成プロジェクトとの連携
  - 各部会の成果物を生徒に還元していく。
  - 甲州市の統一取組の実践

## 5年間研究予定

月	日	曜日	研究活動	内容
4	4	(木)	第1回校内研	研究主題について (2) 授業実践に向けた研究 ②「個別最適な学びと協働的な学びの実現」をめざすための研究 ・「指導と評価の一体化」を意識した授業改善
5	15	(水)	ブロック交流研	中学校授業公開
	17	(金)	市プロジェクト	教育講演会①
	22	(水)	第2回校内研	(1) 基礎学習 ②研究のための環境づくりとしての研究 ・「塩北ライフ」の振り返りと改善 (2) 授業実践に向けた研究 ①「個別最適な学びと協働的な学びの実現」をめざすための研究 ・「複線型授業」の理論学習
6	28	(金)	市プロジェクト	教育講演会②
7	10	(水)	第3回校内研	(1) 基礎学習 ②研究のための環境づくりとしての研究 ・Web-QUの分析、アタックシート作成について(前期)
8	23	(金)	第4回校内研	(2) 授業実践に向けた研究 ①研究授業に向けた指導案検討1
9	25	(水)	第5回校内研	(2) 授業実践に向けた研究 ①研究授業に向けた指導案検討2
10	23	(水)	市プロジェクト	教育講演会③
	28	(月)	第6回校内研	研究授業
11	27	(水)	ブロック交流研	小学校授業公開
12	4	(水)	第7回校内研	(1) 基礎学習 ②確かな学力を目指すための環境づくりとしての研究 ・Web-QUの分析、アタックシート作成について(後期)
1	17	(金)	市プロジェクト	教育講演会④
	27	(月)	第8回校内研	(2) 授業実践に向けた研究 ③カリキュラムマネジメントの充実に向けた学習 今年度の成果と課題について
2	26	(水)	第9回校内研	今年度のまとめと来年度の方向性について